Nagasaki Higashi
World-Wide Report
「世界の平和と共生」に貢献するイノベーティブなG人材の育成
World Wide Learning
2023年度　第20号
Sep.21, 2023

ノーベル平和賞受賞者 ムハマド・ユヌス博士との意見交換会に招聘されました

７月９日（日）、高３の山田あやめさん、奥村優里奈さん、増山俊治さんが、東京の日本外国特派員協会で行われたノーベル平和賞受賞者ムハマド・ユヌス博士との意見交換会に招聘を受け、参加しました。

ムハマド・ユヌス博士は、貧困層の女性に貸付を行うグラミン銀行を創設し、ソーシャルビジネスを世界で初めて開発。貧困ゼロ、失業ゼロ、二酸化炭素排出量ゼロのスリーゼロを提唱され、世界中で活躍されています。

この意見交換会は、探究の全国大会を企画する「SDGs QUEST みらい甲子園事務局」が企画したものです。招聘を受けた本校のチームは、昨年度の３月に開催された上記事務局の大会である「SDGs QUEST みらい甲子園」北九州エリア大会において最優秀賞を受賞するなど、各大会で優秀な成績を収めています。

今回の意見交換会は、上記大会に参加した<u>全国の 1228 チームより、本校を含む４チームが選抜</u>されました。本校チームの探究テーマは「持続可能な藻場造成」。藻を原料とした飼料を家畜の餌にすることで、家畜のゲップから二酸化炭素排出量が削減されることに着目し、五島市をモデルにビジネスプランを策定しました。二酸化炭素排出量ゼロを目指すヤヌス博士の実践との親和性を踏まえ、今回の招聘が決定されました。

ユヌス博士からの基調講演をいただいた後、各チームがユヌス博士の前で探究内容を発表し、講評をいただきました。本校の発表について、ユヌス博士からは「リサーチが素晴らしい。利益を得ることとともに、ソーシャルビジネスとしての意義をより強調しては」とのご助言を賜りました。

参加した山田さんからは「ユヌス博士が仰られていることから、<u>貧困が生じる経済システム自体に着目する</u>重要性を学びました。」との感想がありました。

<u>事象の結果をどう改善するのかではなく、その事象の原因を追究し、事象が生じているシステム自体に着目すべきである</u>との意見に、会場から大きな拍手をいただきました。

また、ミドリムシを活用した製品開発で有名な企業「ユーグレナ」の CFO（最高未来責任者）を務める高校生、渡部翠さんの講演や、高校生同士の交流もあり、とても充実した日となりました。（第２１号に続く）

Nagasaki Higashi
World-Wide Report
「世界の平和と共生」に貢献するイノベーティブなG人材の育成
World Wide Learning
2023年度　第21号
Sep.21, 2023

「宇宙船地球号の乗客ではなく、操縦士として生きる」

意見交換会後、高き知性との語らいのなかで、おおいに成長した生徒の姿がありました。
本校代表生徒３名の感想を紹介します。

グラミン銀行を設立したユヌス博士や、ユーグレナの CFO として 16 歳という若さで活躍する渡部さんらをはじめとする、世界をよりよくしようと行動を起こしている方々と実際にお会いし、アイデアを考え、実際に行動を起こすことが大切だと強く感じました。ユヌス博士の講演では、「私たちは大きな宇宙船に乗っている。そのときに、乗客として目的地はどこなのか、操縦士はどうなっているのかもわからずにただ乗船しているのか、それとも操縦士として乗客を安全・安心で目的地に無事連れていくのか。自分の役割はなんであるか、そのことを自覚し決意することが必要だ」というお話が本当に心に残りました。私は、**宇宙船地球号の乗客ではなく操縦士として、人の役に立てる人間になりたい**と強く思います。５年、10 年後の未来だけでなく、22 世紀の地球のことまで考えて行動できる人材に、成長していく決意です。【３年７組　奥村優里奈】

ユヌス博士からいただいた講評のなかで、日本では海藻食文化が根付いていて、海藻は身近な存在ですが、海外ではそうでない国々も少なくなく、自分達が目を付けた海藻というものの認識の違いについて認識できました。また、社会事象についてその結果自体に注目していくことも大切ですが、環境と共存できる経済システム、人間より優秀な AI の存在を前提とした労働のあり方等、**私達若い世代が創り上げていくべきは「社会のシステム」そのものだ**と再認識させられました。
【３年６組　山田あやめ】

今日の経験から学んだことは大きく分けて３つあります。１つ目は、ユヌス博士が講演で述べられた**「若さは無力さじゃない」**ということです。高校生という立場としての無力感を拭ってくれる心強い言葉でとても勇気を貰いました。２つ目は**「仕事は目的ではなく、お金は目的を達成するために使うべきだ」**ということです。社会人になると目先のことで精一杯になり、働く意味を見失う事も少なくないと思います。しかしながら、自分は何を目的としていて、それを達成する手段として今何をしているのかを常に考え続けるようにしようと思いました。３つ目は、**「多角的なものの見方の重要性」**です。先進国の利益が創出される裏では、バングラデシュ含め、その代償を負い不利益を被っている国々が存在しているというお話を聞き、一時的で目先の利益にこだわることの恐ろしさを感じました。そして、自分は科学技術を社会に還元する研究をしたいと考えているので、技術的進歩と環境負荷を総合的に評価できる多角的な視野を持った研究者となり、自分らしさを大切にしていきます。【３年７組　増山俊治】